

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている			
	やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・春休み期間中は人出が多く、春休み終了後も、商店街の近隣で行われているイベントが観光客でにぎわい、通行量が増加している。
		一般小売店【酒】（販売担当）	販売量の動き	・人事異動や新入社員の歓迎会などで、料飲店向け販売量は3月に引き続き前年比をクリアしている。酒税改正の影響で、第3ビールの需要も、ほぼ見込みどおりであり、店頭販売も好調である。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・客の品物に対する見方が以前とやや変化し、高額品に関心が向いており、買物比率が上昇している。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数は伸びているが、客単価は伸びていない。必要な物以外は購入しない傾向になっている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・海産物コーナーのマグロの刺身でも、冷凍解凍品（価格が安い）・中トロ・大トロなどを同じ売場で展開しているが、最近は中トロなど比較的価格の高い商品の動きが良くなっている。
		スーパー（予算担当）	競争相手の様子	・3月決算の発表数値を見ると、おおむね好業績である。衣料品業界は厳冬の影響で、冬物在庫が処分できているので、在庫回転が良くなっている。
		コンビニ（店長）	それ以外	・来客数及び売上高については、厳しい状況であるが、従業員、アルバイトから就職の状況が今年は良いという話を聞くため、良い方向に向いている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・大型連休を控えて個人を中心に旅行相談、申込が多くなっており、国内では沖縄・東京ディズニーランド・山陰が高くなっている。5月、6月は団体旅行のシーズンでもあり団体旅行の相談も増えている。社内旅行を復活させた会社もあり、景気が良くなってきている事を実感させる。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・今月は、土日・平日の来客数が順調に伸びており、昨年よりも良い状況になっている。
		その他住宅（住宅ローンセンター）	販売量の動き	・高価な買物にもかかわらず、マイホームを購入する顧客が増えている。景気の底が見え、上向きに向かっているという期待感が広がっている。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街の通行量の減少が大きくなっている。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・来客数及び売上高共に前年を下回り、低調な結果である。婦人靴・ファッションパーツ・プレタ・メンズなどファッション関連が苦戦し、来客数の減少に伴い食品も前年割れとなり、総じて低調な月である。
		スーパー（統括担当）	来客数の動き	・来客数は前年と変わらないが、販売単価が下がり、販売総額が減少している状況が続いている。
コンビニ（エリア担当）		単価の動き	・愛媛県では、出店競争、過当競争の中で、特に既存店において業績が悪化しており、景気の浮揚感を感じられない。	
衣料品専門店（経営者）		来客数の動き	・寒い日や雨の日が多く、期待するほど来客数が伸びず、ゴールデンウィークに向けたトラベルニーズへの訴求も結果が出ず、低調に推移している。	
乗用車販売店（従業員）		お客様の様子	・当社の3月決算期を終え、少し販売量と客の動きが落ち着いている。近年、新卒需要（就職・進学）もあまり期待できないのが現状である。	
乗用車販売店（管理担当）		販売量の動き	・成約が低調である。	
観光型旅館（経営者）		販売量の動き	・全国的に、景気は少し上向きの状況にあるようだが、単価も販売量も増加していない。海外旅行は増加しているようだが、国内旅行は増加しておらず、特に四国地域は全国と比べてそれほど良くなっていない。	
都市型ホテル（経営者）		単価の動き	・高知県では、販売単価は下げ止まっておらず、来客数も、以前と比べて減少している。	
観光名所（経営者）		来客数の動き	・観光客が団体からグループ、家族連れに変わってきている。	

		設計事務所（職員）	単価の動き	・日用品の単価、飲食代金については、下げ止まっているようであるが、郊外の宅地の土地単価や建設単価などは、下げ止まっていない。景気は良くなっているとのことであるが、実感できない。
	やや悪くなっている	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・例年4月は春物と初夏物の動きが良い月であるが、今月は、気温が低かったことと週末に雨が多かったことで、初夏物の動きが悪く、また、近隣に大きなショッピングセンターがオープンした影響もあり、苦しい状況である。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・来客数は確保できているが、冷蔵庫、エアコンなどの高額商品の動きが悪く、前年の85%となっている。原油高騰の影響もあるのではないかと。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・アフターサービス関連の客は増大しているが、車両購入の客は前年割れを続けている。
	悪くなっている	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・今月は雨が長く、気温が低かったことが影響している。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・景気回復の兆しが見られる中、従来の百貨店のタオル売場、外商などの売上高は今一つであるが、一般小売店の売上高は好調である。消費者が商品や購入場所を選択しており、消費傾向にバラツキが見られる。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・クレーンの稼働率は、高稼働で推移しており、引き合いも活発であるが、生産能力が追いつかず、納期までの期間が長い。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・VTR関係、電気、ダイオード関係から問い合わせ、契約が増えている。
		通信業（営業担当）	それ以外	・大型量販店、スーパーマーケットの経営層、マネージャーとの会話の中で、「例年より売行きが良い」、「特に高額の商品から売れている」、「客の購買決定が、昨年までは、値引き表示をするまで待っていたのが、価格より好みの商品中心に購入の判断をしている」と聞く事が多くなった。
		広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規受注の話が具体的にってきている。大型設備の導入も決まり、売上を伸ばしてゆくための材料がそろった。
		公認会計士	取引先の様子	・最近の各取引先の資産表や決算書を見ると、前年比でプラスになっている企業が60%ぐらいになっており、景気はかなり上向きになってきている。
	変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注の結果、関東・東海・関西が堅調である。原油価格高騰の影響がまだ実績面にあらわれていないこと、東海・関西地区の排ガス規制による買換え需要が堅調だったためである。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・取引先が県外にある一部製造業では、好調に推移しているが、県内を経済基盤とする企業は、売上、単価とも低迷している。
	やや悪くなっている	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新商品の売行きが悪く、既存品も基本的に落ちているため、売上が良くない。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・大口荷主の物流がグループの再編による拠点変更になり、物量、収入とも落ち込んでいる。
	悪くなっている	木材木製品製造業（経営者）	取引先の様子	・建材業界では、総合建材メーカーの荷動きが悪くなっている。12月、1月の着工数が減少したことが一番の原因であるが、季節的な要因も影響している。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・手持ち工事残高が極端に落ち込んでおり、受注獲得に積極的に取り組んでいるが、採算ラインを下回る価格を提示しても落札が難しくなっている。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	雇用形態の様子	・実際の派遣の要望というより、派遣終了後、直雇用、正社員もしくは、契約社員になるという案件が前年比で増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は、最近3か月、前年比10%以上の伸びが続いている。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	雇用形態の様子	・派遣人員の要望は多いが、その発注動機は欠員補充がほとんどで、増員している企業は少ない。

	新聞社 [求人広告] (担当者)	周辺企業の様子	・広告に限っては、4月は新規予算の立ち上がりのため、広告は多くなければならないのであるが、先行きの不透明感のため、広告の出し渋りが多くなっている。今後、上昇することを期待したいが、新たな広告機会、事業、出店が見込めず、悪い傾向が続く。
	学校 [大学] (就職担当)	採用者数の動き	・採用は結果が出始めているが、顕著な変化はみられない。
やや悪くなっている	職業安定所 (職員)	雇用形態の様子	・電子部品製造業で派遣や請負が増加し、正社員の雇用が難しくなっている。
悪くなっている	-	-	-